

令和元年12月2日
四国地方整備局 四国技術事務所

～大災害に備えて～

「空輸対応型バックホウ(遠隔操縦式)※」の
分解・組立訓練を実施

自衛隊所有の大型ヘリコプター(CH-47)での空輸を想定した7パーツでの分解・組立訓練を初めて行います。

大規模な災害で被災現場への道路が寸断された場合には、バックホウを分解し、被災現場までヘリコプターで空輸、現場にて組立する必要があります。前回までは、3t吊りのヘリコプターで空輸することを想定して実施していました。

今回大型ヘリコプターによる空輸を想定した訓練を初めて実施します。

実施期間 令和元年12月2日(月)～12月13日(金)

実施場所 香川県高松市牟礼町牟礼1545
四国地方整備局 四国技術事務所 構内

実施内容 ① 分解訓練(近隣の整備工場) [12月2日～12月6日]
② 現場を想定した組立訓練(四国技術事務所) [12月9日～12月13日]

四国技術事務所での見学、取材は自由ですが、職員による説明は、12月11日(水)10:00～を予定しています。詳細については、お問い合わせ下さい。

※「空輸対応型バックホウ(遠隔操縦式)」とは、ヘリコプターで吊り上げ可能な重さまで容易に分割できる構造をしたバックホウで、陸路では被災現場に輸送できない場合に活躍します。また、遠隔操縦式であり、二次災害の発生が予想される災害現場でもオペレータはバックホウ本体から最大150m程度離れた安全な場所から無線で操縦できる機能を有しています。

本施策は、四国地震防災基本戦略及び四国圏広域地方計画の「№1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

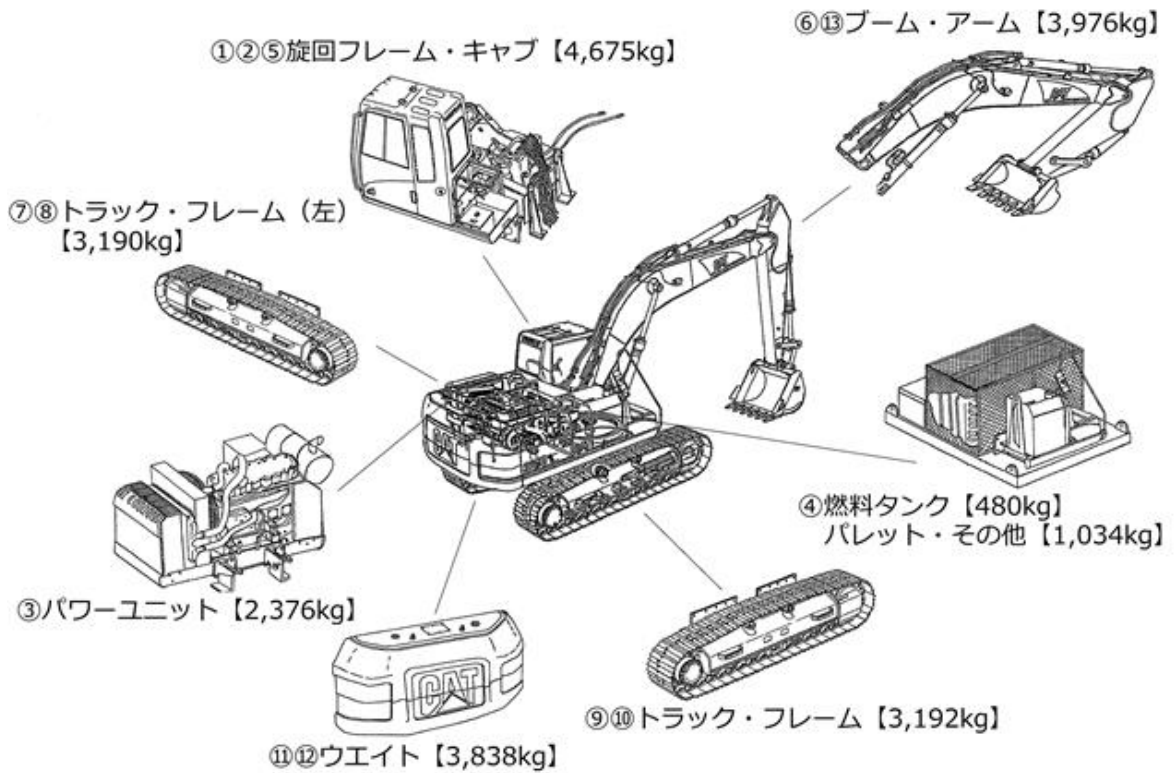
国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 TEL(087)845-3135(代表)

四国技術事務所 副所長 高橋 伸二 (内線204)

◎施工調査・技術活用課長 大林 智仁 (内線381)

◎: 主な問い合わせ先

今回の分解想定 7パーツに分解



バックホウを7個に分解した時の各パーツ図

自衛隊所有の大型ヘリコプター(最大吊り能力6 tを想定)による輸送を想定した7パーツによる分解・組立訓練を実施します。

分解は近隣の整備工場で行い、四国技術事務所構内を被災現場とし、ヘリコプターにて空輸したとの想定で組立を行います。

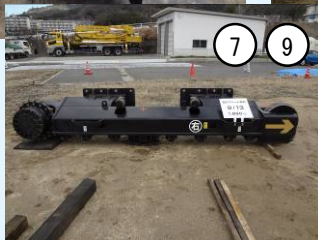
組立は空輸可能な小型のクレーン2台を使用し行います。

前回の分解状況 13パーツに分解



機械の概要

バケット容量	: 1.0m ³
機械質量	: 22,400kg
全長	: 9,460mm
全幅	: 2,980mm
全高	: 3,030mm (寸法は輸送時の数値)
操作方式	: 標準操作方式 (ISOパターン)
遠隔操縦性能	: 通信範囲 約150m
その他	: ヘリコプターで運搬可能な 2.8t/パーツ以下に分割が可能



バックホウを13個に分解した時の各パーツ写真



「⑤パーツ」組立状況写真



「⑥パーツ」組立状況写真

「災害現場における空輸対応型バックホウの活躍

(H28 熊本地震災害復旧現場 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村))



目視での遠隔操作



モニターでの遠隔操作

平成28年4月14日発生の地震による災害復旧現場では、国道上の法面崩落土砂の撤去作業を、安全と思われる場所から遠隔操作にて実施しました。

分解・組立確認作業の会場案内

